

【変更のご案内】「空港と犯罪」の心理学を考える

—SCENE 1 空港を利用した犯罪：ハイジャック等—

【お詫び】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本研究会では第1回目の研究会の規模を縮小して開催する判断をいたしました。これに伴い、テーマおよび申し込み方法を以下のとおりに変更することといたしました。大上渉先生による話題提供は、また別の研究会の機会に設定させていただきます。話題提供者の大上渉先生ならびに、参加を予定されていた方々にお詫び申し上げます。

なお、東洋大学 桐生正幸先生ならびに研究室のメンバーにて以下のテーマについて議論する予定です。日本犯罪心理学会の会員であれば、参加可能ですので、以下の連絡先までお問合せ下さい。

空港は私たちが社会生活を営むうえで重要な公共インフラの1つです。一方で、多くの人や物が集まるため、(a) 空港を対象とした犯罪 (例：テロリズム)、(b) 空港を利用した犯罪 (例：航空機ハイジャック)、(c) 空港で発生する犯罪や逸脱行為 (例：航空会社等への悪質クレーム) に注意、対応する必要のある場所でもあります。

航空行政や民間の航空会社のイメージが強く、これまで、空港への研究アプローチは難しいといった素朴なイメージがあったかもしれません。航空機の性能が格段に進歩し、人や物が国・地域間を短時間で行き交う現在、私たちがより良い社会生活を営んでいくうえで、犯罪心理学の研究知見を「空港」に還元することは重要です。

そこで、2020年の東日本司法・犯罪心理学研究会では、通年で様々な犯罪を取り上げ、参加者の方々と「空港と犯罪」の心理学について考えていきます。毎回、空港実務経験者による解説もあり、アットホームな雰囲気を目指しています。第1回目の研究会は、以下のとおりに開催いたします。どうか、奮ってご参加ください。

日時

● 2020年3月7日(土) 13:30 ~ 15:30

テーマ

● 「空港を利用した犯罪：ハイジャック等」の心理学を考える

話題提供

- 入山 茂 氏 (東洋大学大学院 大学院生)
- 桐生 正幸 氏 (東洋大学社会学部 教授)

会場

- お申込みいただいた際にご案内申し上げます。
※会場は東京都内となっております。

申込

- 日本犯罪心理学会の会員に限ります。
- 資料を準備する都合上、参加をご希望の方は、以下の連絡先までご連絡下さい。
- 体調不良等の方は、無理をなさらず、参加をご遠慮下さい。

連絡先

担当：東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程
入山 茂までお願いいたします。
E-mail : shigeru.iriya@gmail.com